

風しんワクチンまたは、MR(麻しん風しん混合)ワクチンの予防接種を受けられる前に

風しんワクチンまたは、MR(麻しん風しん混合)ワクチンの予防接種を実施するにあたり、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、以下のワクチンに関する情報を必ずお読みいただいた上で、表面の予診票にはできるだけ詳しくご記入下さい。ご自身での記入が難しい方が接種を希望されている場合には、健康状態をよく把握しているご家族の方など代理人がご記入ください。 ※MR(麻しん風しん混合)ワクチンは、風しんだけではなく、麻しんも接種することになります。麻しん抗体が陽性で予防接種を受けても特に問題はありません。

【風しんとは】

風しんは、患者さんの飛沫を介して感染するウイルス感染症で、発疹、発熱、リンパ節のはれを特徴とします。潜伏期間は2～3週間です。目が赤くなるといった症状がみられることもあり、稀な合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。

妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんに風しんウイルスが感染して、**先天性風疹症候群**(生まれつきの心臓病、白内障、難聴といった心臓、目、耳などに色々な組み合わせで障害をもつことがある病気です。)の赤ちゃんが生まれることがあります。感染経路は、一緒に生活しているご家族からうつることが多いため、ご家族が風しんにかからないよう、ワクチンを受けておくことも大切です。

【麻しんとは】

麻しんは、麻しんウイルスによっておこる感染症で、空気感染・飛沫感染・接触感染でヒトからヒトへと感染します。感染力がとても強い(インフルエンザより強い)ので、麻しんに対する免疫(抗体)を持たない人又は免疫力(抗体価)の低い人に広く感染します。

主な症状は、高熱、咳、鼻汁、目やに、発疹などです。約10～12日の潜伏期間(ウイルスに感染後、無症状の期間)のあと、38℃前後の熱が数日続いてから麻しん特有の白く小さな斑点(コプリック斑)が頬の内側の口腔粘膜にあらわれ、その後39～40℃の高熱と発疹がでます。高熱は3～4日で解熱し、次第に発疹も消失します。主な合併症は、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳症などです。

【ワクチンの効果と副反応】

MRワクチンを1回接種することによって95%以上の人が免疫を獲得しますので、ワクチンを接種してからであれば、風しんの患者さんと接触してもほとんどの場合発症を予防することができます。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況や、その後の周囲での流行によって異なります。

MRワクチンの副反応の主なものは、発熱と発疹です。他の副反応として注射部位の発赤・腫脹・硬結などの局所反応、じんましん、関節痛などが見られます。まれに、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどが生じることもあります。

任意の予防接種によって重篤な健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)が実施する、「医薬品副作用被害救済制度」の対象となります。

【接種不適当者(予防接種を受けることが適当でない方)】

次のいずれかに該当すると認められる場合には、予防接種は受けられません。

- ① 妊娠をしている女性。または妊娠している可能性がある女性。ワクチン接種後は2ヶ月間の避妊が必要です。
- ② 直近に受けた予防接種が注射生ワクチンで27日以上経過していない方。
直近に受けた予防接種がコロナワクチンで接種後、2週間以上経過していない方。
- ③ 接種当日、明らかな発熱を呈している方。(明らかな発熱とは、通常37.5℃以上をいいます。)
- ④ 重篤な急性疾患にかかっている方。
- ⑤ 受ける予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方。
- ⑥ 免疫機能に異常のある疾患を有する方および免疫抑制をきたす治療を受けている方。
- ⑦ その他、医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した方。

【接種要注意者(接種の判断を行うに際し、注意を要する方)】

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、予防接種の効果と副反応について十分に説明を受け、接種することに同意した上で予防接種を受けて下さい。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方。
- ② 過去にけいれんの既往のある方。
- ③ 過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ④ 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた方。
- ⑤ 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを起こす恐れのある方。

【ワクチン接種後の一般的注意】

- ① 予防接種を受けた後30分間程度は、医療機関で様子を見ましょう。急な副反応がこの間に起こることがまれにあります。
- ② 予防接種当日の入浴は差し支えません。また、接種部位は清潔に保ってください。普段通りの生活で構いませんが、激しい運動は避けて下さい。
- ③ 接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気付いた場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。